

新型インフルエンザについて知っておいていただきたいこと

相模原市医師会では10月初旬に本格的な新型インフルエンザの流行に備えて急病診療所への適正受診のお願いをしました。相模原市内でも新型インフルエンザの流行が本格的に始まり、特に休日に急病診療所を受診する患者さんが激増しています。急病診療所での待ち時間がたいへん長くなり、重症の患者さんの手当てが遅れることが心配されています。日本小児科学会は、全国で夜間に救急外来を受診する小児患者が激増していることを憂慮して、最近「発熱があってもほかに異常がなければ、できるだけ昼間の受診を促してほしい」と提言しました。現在、相模原市における夜間・休日の急病診療の状況は非常に切迫しており、医師会としてはできる限りの体制をとっております。しかし、お待ちいただく時間が非常に長く、場合によっては2時間、3時間お待ちいただくことがあるのが現状です。長くお待ちいただいている間に、お子さんの容体が悪化する恐れもあり、またインフルエンザでないお子さん、保護者の方が罹患してしまうことが懸念されます。今後本格的な冬場を迎え、通年流行するインフルエンザ、重篤な病気が多くなる時期になり、このままの状態が続くと夜間や休日の時間外救急医療体制が維持できなくなり破綻してしまう可能性が危惧されます。そのためにも、夜間・休日の急病診療所への適正受診にご協力いただくようお願いいたします。

新型インフルエンザは、特に未成年者の感染が圧倒的に多いことより、小中学生、幼稚園、保育園児の保護者の方々に新型インフルエンザについて知っていただきたいことをまとめました。

1) 新型インフルエンザは季節性のインフルエンザとほぼ同等の病状を示すことが分かってきました。小児ではまれに脳症という怖い合併症をおこすことがあります。また喘息などの基礎疾患を持っている人は急激に呼吸が苦しくなって入院が必要になることもあります。しかしもともと健康で基礎疾患のない多くの方々は感染しても軽症の経過で治癒していることが確認されていますので落ち着いて対応するようにお願い致します。

2) 発熱後12時間位はウイルス量が少ないために検査をしても通常は診断を確定できません。新型インフルエンザでは迅速検査で正確に診断できるのは54～77%と報告されています。発症翌日に検査をした場合に最も信頼性が高

いとされていますが、それでも80%程度の精度しかありません。すなわち検査で全て確実に分かるわけではありません。

3) 抗インフルエンザ薬（タミフル、リレンザ）は発熱後48時間以内に開始すれば効果があります。また抗インフルエンザ薬には脳症自体への治療効果、ないし予防効果は証明されていません。

4) 流行の状況や患者さんの臨床症状、発熱してからの時間、のどの所見など、色々なことを総合して、検査が陰性でも医師は臨床的にインフルエンザと診断して抗インフルエンザ薬を処方することもしばしばあります。今後は診断キットが足りなくなり、医師の診察だけでインフルエンザと診断するケースも増えてくると予想されます。このような場合にも医師の診断を尊重してください。

5) インフルエンザでは登校・登園の基準が決められております。登校・登園の基準を守って頂ければ、治癒証明書は不要です。

6) 新型インフルエンザは第1波、第2波と流行を繰り返し、いずれ国民全員が感染し数年以内に季節性インフルエンザになっていきます

相模原市医師会・相模原市

2009年11月